

あかふじ ニュース

第 22 号

発行 令和8年5月

山梨県消防防災航空隊



《山梨県ホームページ》

<https://www.pref.yamanashi.jp>

《やまなし防災ポータル》

<https://yamanashi.secure.force.com>

山梨県消防防災航空隊

〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷 445-1

TEL 0551-20-3601

FAX 0551-20-3603

E-mail: bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp

- ・ 令和7年度緊急運航実績 1
- ・ 令和7年度活動報告 2～5
- ・ 広域航空消防応援 6
- ・ 各県防災航空隊視察研修 7
- ・ 埼玉県防災航空隊進出訓練 8
- ・ 北関東ブロック航空消防事務連絡会議 9～10
- ・ 合同訓練等実施内容 11～15
- ・ 山梨県消防防災航空隊自隊訓練 16
- ・ 退任隊員紹介 17～18

令和7年度緊急運航実績

区分	件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
		救助	救助件数	1	2					3	3	1	3		1
救助人員	1		2					2	4	2	2		1	14	
救急	救急件数	1	2					2	3	1	2		1	12	
	搬送人員	1	2					2	3	1	2		1	12	
火災	災害件数										9		3	12	
	飛行回数										15		7	22	
災害応急 対策	災害件数													0	
	飛行回数													0	
件数小計		2	4					5	6	2	14		5	38	
相互応援・ 広域航空消防応援・ 緊急消防援助隊	救助	救助件数	1								2			3	
		救助人員	1								2			3	
	救急	救急件数	1								2			3	
		搬送人員	1								2			3	
	火災	災害件数									1		1	2	
		飛行回数									1		1	2	
	その他	災害件数													0
		飛行回数													0
	件数小計		2								1	4	1		8
	緊急運航並びに相互応援協定・広域航空消防応援・緊急消防援助隊の合計件数														46

3月31日現在

今年度の緊急運航件数は、上記表のとおり3月31日現在で46件ありました。

このうち、救助活動件数は県内外合わせて17件あり、県内活動が14件、相互応援協定等に基づく他県応援活動が3件でした。

緊急運航件数のうち、県内での救助活動が31%を占め、救急活動は26%、火災防御活動は26%、災害応急対策は0%、また、県外への応援活動は17%あり、相互応援協定及び広域航空消防応援隊として長野県、静岡県、群馬県、埼玉県へ応援活動を行いました。

令和7年度活動報告

～救助活動～

令和7年4月に静岡県富士宮市の富士山山頂付近で救助事案が発生し、静岡県から相互応援協定に基づく応援要請があり、救助出場しました。要救助者を無事救助し、救急隊へ引き継ぎ活動を終了しました。実際の現場の標高は3,695m(12120ft)で山梨県消防防災航空隊史上最高高度での救助となりました。



令和7年11月に北杜市武川町の尾白川溪谷で水難救助事案が発生しました。要救助者2名を無事救助し、救急隊へ引き継ぎ活動を終了しました。水難事故の件数は少ないですが、登山中に対岸へ渡ろうとして誤って沢に転落し身動きが取れなくなるという特異な事案でした。



令和8年1月に長野県茅野市の阿弥陀岳で救助事案が発生し、長野県から相互応援協定に基づく応援要請があり、救助出場しました。要救助者を無事救助し、救急隊へ引き継ぎ活動を終了しました。冬季における雪山はヘリコプターによるダウンウォッシュの影響で地上の雪が舞い上がることがあり、救助活動がいつも以上に難しくなります。



令和7年度活動報告

～火災防御活動～

令和8年1月に山梨県上野原市犬目地内で林野火災が発生し、隣接の大月市まで延焼拡大をしました。焼損面積につきましては、上野原市が121.62ha、大月市が356.32ha、合計の焼損面積が477.94haとなりました。山梨県では戦後最大の焼損面積となり、火災発生から鎮火まで36日間延焼し続けました。

1月中は西高東低の冬型の気圧配置となる日が多く、降水量が0mmという観測結果となりました。また、現場付近では風の強い日も多く、延焼箇所が点在し広範囲に延焼となりました。



発生2日目、上野原市犬目地内を撮影



発生7日目、扇山を撮影



発生9日目、扇山と百蔵山を撮影



発生14日目、扇山と百蔵山を撮影



あかふじによる散水活動



あかふじによる給水活動（河川から）



あかふじによる給水活動（堰堤から）

広域航空消防応援

広域航空消防応援は、地震、台風、山林火災、集団救助救急事故等の大規模特殊災害であり、ヘリコプターを使用することが消防機関の活動にとって極めて有効であると考えられる災害で、様々な都道府県や政令指定都市に要請を行うことで応援出場してもらうことができます。

令和8年1月の山梨県上野原市犬目地内での林野火災では、1日目から広域航空消防応援、2日目からは自衛隊災害派遣により、16日間複数のヘリコプターで空中消火活動を行いました。



群馬県防災航空隊「はるな」



埼玉県防災航空隊「あらかわ」



川崎市消防局航空隊「そよかぜ」



横浜市消防局航空隊「はまちどり」



岐阜県防災航空隊「若鮎」



東京消防庁航空隊「はくちょう」

各県防災航空隊視察研修

三重県防災航空隊、滋賀県防災航空隊、岐阜県防災航空隊への視察研修を実施しました。大規模災害発生時における連携強化、消防防災ヘリコプターの効率的な運用及び安全管理体制の一層の強化を図ることを目的として、資器材説明、駐機訓練、実機訓練に参加しました。他県防災航空隊の活動を知ることができ、非常に有意義な研修となりました。

三重県防災航空隊



滋賀県防災航空隊



岐阜県防災航空隊



埼玉県防災航空隊進出訓練

令和7年5月に埼玉県防災航空隊が進出訓練で来隊しました。埼玉県とは運航不能期間等における相互応援協定を結んでおり、あかふじが耐空検査等で飛行できない場合には要請をして出場してもらいます。応援時のために、県外飛行訓練を兼ねて施設、装備等の見学を行い、また、山梨県特有の地形や事案発生場所、災害事例等の共有を図り、相互の防災航空体制の強化に繋げています。



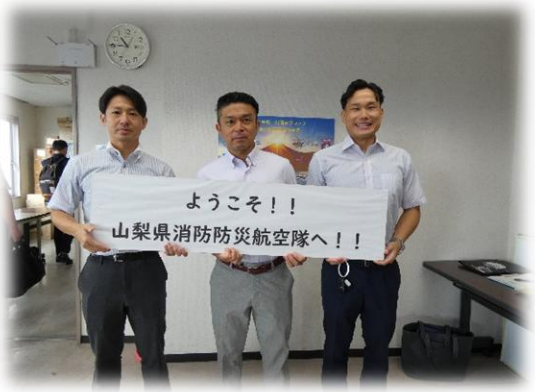
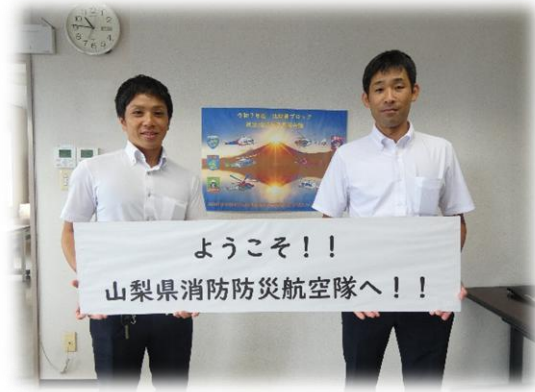
北関東ブロック 航空消防事務連絡会議

令和7年7月に山梨県において北関東ブロック航空消防事務連絡会議が2日間行われました。今年度は山梨県消防防災航空隊が幹事県として会議の運営進行を行いました。1日目はやまなしプラザ1階のオープンスクエアにて、今回のテーマである「林野火災について」の講演や議事、意見交換などが行われました。2日目は山梨県消防防災航空隊の基地にて「水難救助活動について」の議題を基に意見交換が行われました。

1日目 やまなしプラザ オープンスクエア



2日目 山梨県消防防災航空隊 基地



- 【参画機関】**
- 福島県消防防災航空隊
 - 茨城県防災航空隊
 - 栃木県消防防災航空隊
 - 群馬県防災航空隊
 - 埼玉県防災航空隊
 - 総務省消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室
 - 山梨県警察本部
 - 山梨県消防防災航空隊

合同訓練等実施内容

山梨県庁防災新館屋上 HP 離着陸訓練

(令和7年4月25日:山梨県庁防災新館屋上 HP)

山梨県における大規模災害発生時、人員の輸送等、県の防災拠点でもある県庁防災新館への離着陸訓練を実施しました。大規模災害等で使用する手順の再確認ができ、防災局の職員との連携が図れました。



山梨県災害対策本部 総合図上訓練 及び 山梨県ヘリコプター等 航空運用調整会議

(令和7年8月28日:山梨県庁防災新館)

山梨県庁防災新館において山梨県災害対策本部総合図上訓練が行われました。

総合図上訓練は曾根丘陵断層帯を震源とする県内最大震度7の地震が発生した想定で行われ、大規模災害時における県災害対策本部の対応能力を向上させるとともに、関係機関相互の連携を強化することを目的として行われました。多くの機関が参加する中、当航空隊は航空運用調整班として参加しました。

本会議では多数のヘリコプターが災害対策活動に従事する必要がある場合に、ヘリコプター等の効率的な運用調整及び安全運航を行うことを目的として同時開催しました。

山梨県災害対策本部 総合図上訓練



山梨県ヘリコプター等 航空運用調整会議



【参画機関】

- ・国土交通省 関東地方整備局 防災室
- ・国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
- ・国土交通省 関東地方整備局 富士川砂防事務所
- ・陸上自衛隊 東部方面特科連隊
- ・山梨県警察本部 警備部 警備第二課
- ・山梨県警察本部 警備部 警備第二課 警察航空隊
- ・山梨県福祉保健部 医務課
- ・山梨県立中央病院 高度救命救急センター
- ・海上保安庁 清水海上保安部
- ・山梨県防災局 防災危機管理課
- ・山梨県防災局 消防保安課

消防職員初任総合教育訓練

(令和7年9月9日：消防学校 他)

消防職員初任総合教育学生を対象に午前
は消防学校において講義、午後は基地格納庫
で施設説明、機体展示、資器材展示、訓練展
示を実施しました。



富士山世界遺産 センター研修会

(令和7年9月11日：基地格納庫 他)

研修会には富士山の巡回や北麓での自然保護パトロールを実施している『富士山レンジャー』が参加しました。山岳活動に対する情報共有や登山に対する安全確保の共有を目的とした研修会を実施しました。



令和7年度甲府市防災訓練

(令和7年10月5日：甲府市立山城小学校)

南海トラフを震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、甲府市では震度6強を観測した想定で、被害状況把握のため上空偵察訓練、ヘリテレによる情報収集訓練を実施しました。



県民の日記念行事（機体展示）

（令和7年11月16日）

：小瀬スポーツ公園補助競技場）

小瀬スポーツ公園において行われた、県民の日記念行事に参加し「あかふじ」の機体展示及びクリアファイルを配布し、山岳遭難の啓発活動及び航空隊のPR活動を実施しました。



日本航空学園航空祭

（令和7年11月22日、23日）

：日本航空学園山梨キャンパス）

日本航空学園山梨キャンパスで行われた航空祭に参加しました。多くの観覧者が見守る中、「あかふじ」の飛行及び救出救助訓練を展示し、航空隊の活動をPRすることができました。



東山梨消防本部合同訓練

(令和7年12月18日：広瀬ダム)

ヘリコプターによる現場への隊員投入の知識及び技術の習得と相互間の理解を深め、安全確実な連携体制の構築を目的として、人員投入訓練及び意見交換を実施しました。



笛吹市消防本部合同訓練

(令和7年12月23日：清哲訓練場)

山岳遭難等各種災害現場における救助活動の連携強化を目的として、人員投入訓練、多数傷病者の救出救助訓練及び意見交換を実施しました。



山梨県消防防災航空隊自隊訓練

山梨県消防防災航空隊では活動手技の習熟、隊員相互の連携強化、特殊環境下における技術向上を図ることを目的に、年間を通して自隊訓練を実施しています。

今後も過酷な現場での活動に対応すべく、山梨県消防防災航空隊一同、慢心することなく日々技術向上に努めて参ります。



退任隊員紹介

隊長 岡田 信一

(甲府地区消防本部)

救助活動	34件
救急活動	0件
火災防御	22件
その他	2件
出動合計	58件
救助人員	33名



副隊長 渡邊 浩明

(富士五湖消防本部)

救助活動	33件
救急活動	0件
火災防御	28件
その他	0件
出動合計	61件
救助人員	36名



副隊長 日野原 哲也

(南アルプス市消防本部)

救助活動	44件
救急活動	0件
火災防御	27件
その他	3件
出動合計	74件
救助人員	44名



令和5年4月1日～令和8年3月31日



副隊長 渡邊 浩明 隊長 岡田 信一 副隊長 日野原 哲也

令和8年3月31日付けをもちまして3年間の任期を終え、派遣元消防本部に帰任いたします。

各消防本部並びに各関係機関の皆様には、航空隊在任中のご支援ご協力に對しまして、厚くお礼申し上げます。

派遣元消防本部に帰任後も、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

隊 長 岡田 信一

副隊長 渡邊 浩明

副隊長 日野原 哲也

YAMANASHI

あかふじ

AIR RESCUE

